

龍馬の夢に未来を感じた長府の武士(ものものふ)たち。
龍馬とともに泣き・笑い・奔った者たちの志は、
今なおこの町で語り継がれている。

城下町長府を歩く



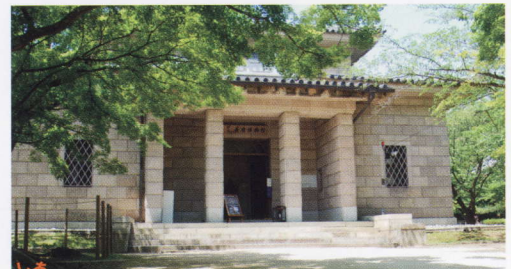
覚苑寺

龍馬に衣類を与えるなど、龍馬を高く評価した長府藩13代藩主元周(もとかね)の墓所。元周の墓のそばには、大洲藩から嫁いできた奥方の墓もある。



功山寺

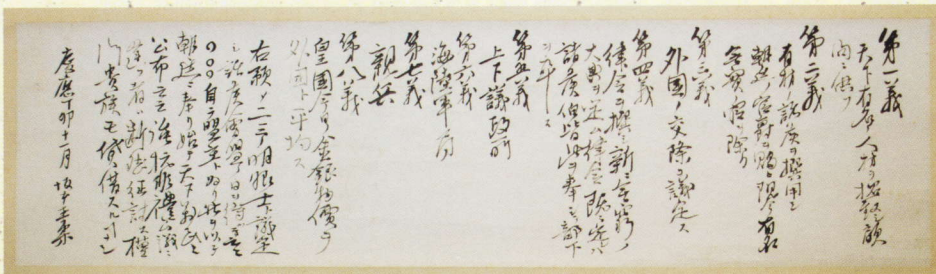
龍馬と交流し、その活動に協力した長府藩士たちが永眠している。



下関市立長府博物館

龍馬直筆の手紙や愛用品などを収蔵する。
龍馬の愛した下関を、歴史的に堪能することができる。

下関市立長府博物館の龍馬資料(一部)



新政府綱領八策

慶応3年(1867)11月、龍馬が大政奉還後の新政府のあり方を提示した。混乱する政局に一石を投じたこの八策は、龍馬が日本史に残した足跡のひとつである。

資料保存のため、龍馬資料は常時展示しておりませんので、ご来館の際は、事前にご連絡下さい。



龍馬愛用の飯碗(亀山焼)と湯呑み

龍馬が伊藤家に贈ったもの。伊藤家で生活していた頃に使っていたと考えられる。